

絵引から見た近世の南九州

事前申込不要

2018年3月10日(土) 13:00 ~ 18:00
神奈川大学横浜キャンパス 3号館 205室



『薩藩勝景百図』巻一「鹿児島」 東京大学史料編纂所所蔵



プログラム

開催挨拶：内田 青蔵 (センター長)

趣旨説明：小熊 誠 (センター研究員)

報告：

絵引とは何かー戯画を絵引するー

富澤 達三 (センター客員研究員 / 松戸市立博物館学芸員)

『薩藩勝景百図』による南九州生活絵引

渡辺 美季 (センター客員研究員 / 東京大学准教授)

鹿児島琉球館について

上原 兼善 (センター研究協力者 / 岡山大学名誉教授)

『再撰帳』掲載絵図にみる近世薩摩国加世田郷

橋口 亘 (センター研究協力者 / 南さつま市教育委員会主査)

コメント：

小島 摩文 (センター研究協力者 / 鹿児島純心女子大学教授)

高津 孝 (センター研究協力者 / 鹿児島大学教授)

丹羽 謙治 (センター研究協力者 / 鹿児島大学教授)

絵引から見た近世の南九州

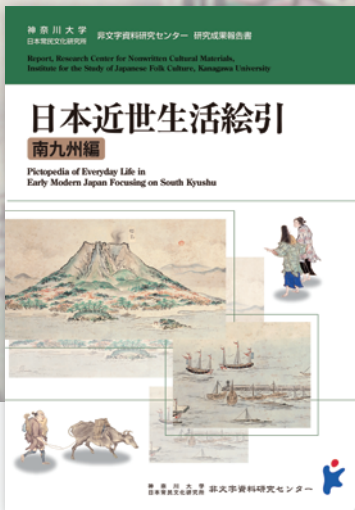
2018 年 3 月 10 日 (土) 13:00 ~ 18:00
神奈川大学横浜キャンパス 3 号館 205 室

開催趣旨

神奈川大学非文字資料研究センターでは、日本常民文化研究所が財団法人であった時代に編纂した『絵巻物による日本常民生活絵引』の研究を発展的に継承すべく、『日本近世生活絵引』の編纂を継続的に実施してきました。絵引とは、図像を題材として、そこに描かれた事物・事象を知るという世界的に類例のない編纂方法を通じて、当時の人々の生活を歴史学的かつ民俗学的に把握しようとする研究手法の一つです。

センターでは 2011-13 年度にかけて『日本近世生活絵引』奄美・沖縄編を編纂し、その成果を活用する形で、2015 年度から 2 年かけて南九州編を編纂しました。題材として取り上げたのは、1815 年に薩摩藩が編纂し将軍に献上した国宝『薩藩勝景百図』（東京大学史料編纂所蔵）です。これまで詳細に検討されたことのないこの絵図に対し、絵引編纂を通じて分析・考察を行った結果、様々な興味深い事実や検討すべき論点が見えてきました。公開研究会ではそれらを詳しく披露し、「絵引から見た近世の南九州世界」について理解と議論を深めたいと思います。

研究代表者 小熊 誠



日本近世生活絵引 南九州編

『薩藩勝景百図』巻四「苗代川」 東京大学史料編纂所蔵



神奈川大学 横浜キャンパス

アクセス

- 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車 徒歩 13 分
- 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バス 1 番乗場 36 系統 菅田町 / 緑車庫行 - 約 14 分 「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車 1 番乗場 82 系統 八反橋 / 神大寺入口行 - 約 14 分 「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

※駐車場がありませんので、自家用車でのご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ

神奈川大学非文字資料研究センター事務室 himoji.kanagawa-u.ac.jp
email: himoji-info@kanagawa-u.ac.jp tel: 045-481-5661(内線3532)